

専門ゼミB		演習	教授 田地野 幹雄	
科目カテゴリー	国税ビジネス学科の必修科目		科目ナンバリング	21300302

### 1. テーマ

現代社会におけるタックス・リテラシー（租税に関する認知力）の醸成

### 2. ゼミのねらい・概要

現代の経済社会を生きる社会人として有しておくべき実践的実務能力としてのタックス・リテラシーの醸成をねらいとする。本ゼミでは、専門ゼミAで学修した租税に関する知識を基礎として、各ゼミメンバーが自ら選定した課題について発表した後、全員で討議を行う。

### 3. ゼミ計画

ゼミ計画は、以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や進捗状況等を見極めながら、適宜見直しを図る。

1. ガイダンス（履修指導など）	9. 課題についての発表⑦（学生2－3名）
2. レポート作成・発表指導	10. 課題についての発表⑧（学生2－3名）
3. 課題についての発表①（学生2－3名）	11. 課題についての発表⑨（学生2－3名）
4. 課題についての発表②（学生2－3名）	12. 課題についての発表⑩（学生2－3名）
5. 課題についての発表③（学生2－3名）	13. 課題についての発表⑪（学生2－3名）
6. 課題についての発表④（学生2－3名）	14. 課題についての発表⑫（学生2－3名）
7. 課題についての発表⑤（学生2－3名）	15. まとめ（卒業研究に向けた学修計画作成など）
8. 課題についての発表⑥（学生2－3名）	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各自が選定した課題について研究し、割り当てられた発表日の1週間前までにレポート（2枚程度）にまとめ提出すること。この準備学修には3時間以上が必要である。また、毎回ゼミの際に配付される他のメンバー作成のレポートを次のゼミまでに精読し、問題点などを抽出しておく。この準備学修には2時間程度が必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題についての発表の際、個別に講評（不足している点や今後取組むべき点など）をコメントする。

### 6. ゼミにおける学修の到達目標

現代社会における租税のあり方や問題点について、自分の意見・考え方をまとめられる。

### 7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取組み姿勢（60%）および課題についての発表内容（40%）とする。

### 8. テキスト・参考文献

各自の課題に必要なと思われる文献などを個別に指示する。

### 9. 受講上の留意事項

ゼミに積極的に参加していく姿勢を期待する。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、国税庁における実務経験を活かして指導する。

### 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。